

相馬 ゆうこの 南千住レポート



まちづくり・くらしの情報を届けます

区議団控え室 荒川区荒川2-2-3区役所内5階 ☎3802-4627
 FAX:3806-9246/メール:arajcp@tcn-catv.ne.jp
 相馬ゆうこ事務所 荒川区南千住5-1-6・2階
 ☎・FAX:3807-4192

jcp-arakawakugidan.jp/
 ツイッター @m1010_yuko
 araken-nan.jugem.jp

いのちを守る 医療確保と検査・ワクチンに全力を

重症化 死亡事例も オミクロン株の急拡大で、区内の自宅待機が4,400名(2/1 6時点)を超え、1月・2月の2か月で残念ですが10名の方が重症化、命を失う事態です。一日当たり感染者はピークの514名から200名程度に減少していますが、さらなる新型株の感染も心配されています。



政府の対応は成り行き任せの感が強まっており、自治体として、いのちを守るできる限りの対策が求められています。

スポセンでも無料検査を開始

区は木下グループ(株)検査センターと提携し、2月25日(金)からスポーツセンター(南千住6)とアクト21(東尾久5)で、無料のPCR検査・抗原検査を始めます。まん延防止期間中の3月6日(日)までは、感染が心配な方は誰でも可能。3月7~31日までは「飲食・イベント・旅行等を行うにあたり検査が必要な方」に限ります。但し無症状の方のみ、症状がある方は医療機関の受診を。

事前予約制で、9~12時・13~17時で実施。各会場一日最大300件可能とし、感染拡大状況によっては期間の延長も。

薬局の検査は予約不要

都が薬局などに委託している、予約不要の無料検査は4か所にふえています。当初、ウエルシア薬局1か所でしたが、検査数が限られ「行っても受けられない」という声が多く寄せられていました。インターネット予約は高齢者などは利用しづらく、予約体制の検討や検査期間の延長など、希望する方が検査を受けられるように抜本改善が必要です。

※予約は…木下グループのホームページから行い、当日会場に行き、検体を採取(5分程度)、登録したメールアドレスに検査結果が届きます。

場所	検査の種類	受付
ウエルシア薬局 三ノ輪橋駅前店 (南千住1丁目)	PCR・抗原	月~土 9~19時
くすりの福太郎 南千住調剤薬局 (南千住4丁目 B1V1内)	PCR	月~水・土 9~19時 (土13時まで)
ぼっぼ薬局 (西日暮里2丁目)	抗原	月~金 9~13時半・15~19時 土日 9~13時半
PCR検査センター東京ラボ コロナバスター西尾久店 (西尾久7丁目)	PCR	月~金 10~18時

集団接種、モデルナ会場を増設 ファイザーは1か所のみ

区は、ファイザー製ワクチンを使用する集団接種会場について「今後の供給が限定的である」として、尾久ふれあい館を2月いっぱい閉鎖し、3月からはサンパール荒川の1か所のみとなります。

また、モデルナ製ワクチンを使用する会場については、3月から女子医大移転後の新病院(令和あらかわクリニック)と荒川さつき会館の2か所をふやし、計4か所にします。

		2月	3月
ファイザー (2→1か所)	サンパール荒川(荒川1)	実施	
	尾久ふれあい館(西尾久2)	実施	閉鎖
モデルナ (2→4か所)	日暮里ラングウッド(東日暮里5)		実施
	町屋ふれあい館(町屋1)		実施
	令和あらかわクリニック(西尾久2)	-	3/3(木)~
	荒川さつき会館(荒川8)	-	3/7(月)~

「ワクチンを打てるところが近くにありません」

南千住地域

「ワクチン3回目について…

モデルナなら早くできることが分かりましたが、91歳の私には会場がどこも遠く、電車やバスに乗って行くのが不安で悩み…出来るだけ外出せず3月まで待つことにしました。モデルナの会場が近くにあるとよかったです。

には、引き続き集団接種会場は無し。1・2回目に会場となっていたスポーツセンターは通常利用を優先、汐入防災倉庫はキャパシティーとの兼ね合いがあるようです。リバーサイド病院・しらひげ西クリニックなど、接種を実施している医療機関のほとんどがすでに3/6まで予約が埋まっていて、予約ができない方も。



接種のピークは3月とされていますが、汐入地域など臨時的に会場の設置ができないか提案したい。

高齢者・障害者施設のクラスター対策を

高齢者・障がい者施設では集団感染が

施設名	計名(利用者・職員・委託事業者)
荒川生活実習所(障がい者施設)	計20名(利用者12名・職員6名・委託事業者2名)
けんちの苑(高齢者施設)	計30名(利用者26名・職員4名)
すこや家・西尾久(有料老人ホーム)	計43名(利用者25名・職員18名)
グリーンハイム荒川(特養ホーム)	計17名(利用者12名・職員5名)

ついており、定期的な検査やリスクの高い方の重症化予防に、早期の接種が大切です。いざという時の介護職員の派遣支援やひっ迫する医療体制の確立が問われています。



〈法律・生活相談〉

3月の定例法律相談日は 10日(木)です

ご要望やご相談などは随時ご連絡ください。事務所での定例法律相談は、毎月第二木曜午後六時からですが、平日の午後法律事務所(北千住)でも可能です。お名前、電話番号等を下記の留守番電話に録音して下さい。

相馬 ゆうこ事務所 南千住5-1-6-2階 ☎3807-4192

「就学援助の基準引き上げ」など 3本の条例を提案

2月会議に共産党区議団で「就学援助の対象を生活保護基準の1.2→1.5倍へ引き上げる条例を提案、委員会でも審議されました。

支給項目	小学校	中学校
学用品費	11630	22730
通学用品費 (第1学年を除く)	2270	2270
校外活動費 (宿泊を伴わないもの)	1600	2310
校外活動費 (宿泊を伴うもの)	3690	6210
体育実技用具費	スキー(小) 26500 (中) 38030 柔道(中) 7650 剣道(中) 52900 スケート(小・中) 11810	
入学準備金(新入学児童生徒学用品費等)	54060	60000
通学費	40020 ※1	80880 ※1
修学旅行費	22690 ※2	60910 ※2
クラブ活動費	2760	30150
生徒会費	4650	5550
P.T.A.会費	3450	4260
卒業アルバム代等	11000	8800
オンライン学習通信費	14000	14000
給食費 (完全給食標準単価)	53000	62000
医療費	トラコーマや中耳炎、虫歯など六つの学校病の治療費	

(注) 実際には自治体や学年によって金額が変わります。
 ※1 市町村が支給した通学費の2分の1の額が国庫補助限度
 ※2 市町村が支給した修学旅行費における児童生徒1人あたりの平均支給額の2分の1の額が国庫補助限度

「就学援助」は、経済的に困難な世帯へ小中学校にかかる費用の一部を補助する制度。自治体によって対象世帯が異なり、荒川区では所得が「生活保護基準の1.2倍」以下の世帯です。23区中15区が「1.2倍」ですが、全国的には「1.3倍」が大半で「1.4~1.5倍」やそれ以上とする自治体も1割超にのぼります(右表)。

自治体における基準の倍率	R1自治体数	H30自治体数
~ 1.1倍以下	164 (9.3%)	179 (10.1%)
~ 1.2倍以下	225 (12.7%)	222 (12.6%)
~ 1.3倍以下	723 (40.9%)	695 (39.4%)
~ 1.4倍以下	44 (2.5%)	44 (2.5%)
~ 1.5倍以下	176 (10.0%)	171 (9.7%)
1.5倍超	11 (0.6%)	11 (0.6%)
計	1,343 (76.0%)	1,322 (74.8%)

文科省の調査より

4人に1人が認定されず 「生活保護基準の1.2倍」は、子ども2人の4人世帯では年間所得約400万円程度、けっしてゆとりのある状況ではありません。所得オーバーで「否」認定の世帯は増加(下表)、2020年は申請した世帯の4分の1が否認定で、今年度も800人を超える見込み。



義務教育は無償を基本に 1965(昭40)年の制度改革で事業が都から区へ移管され、国庫補助も2005年に廃止。当初「1.5倍」だった基準は、1983(昭58)年には「1.08倍」まで引き下げられました。区民とともに共産党区議団も再三要望し、2008(平20)年によようやく「1.2倍」に引き上げられましたが、当初基準には戻っていません。



この間、消費税や社会保険料の引き上げ、物価の値上がりで生活費として使えるお金は減る一方です。義務教育無償化の原則にそって、教材教具や給食費の負担も含めて改善が求められています。委員会では残念ながら反対多数で否決でしたが、引き続き頑張ります。

基金と予算の0.1%で可能 他にも「公営住宅に入れぬひとり親家庭への家賃助成条例」「国や東京都の制度の対象外となった中小事業者へ補助金給付条例」を提案しています。



予算は○就学援助の対象拡大9,200万円○ひとり親家庭の住宅費助成7,200万円○中小事業者の支援給付金に3億円、合計4.64億円です。区の積立・財政調整基金207億円の4分の1で可能。毎年1.64億が経常経費となりますが、区の新年度予算案1,071億の約0.1%です。政策判断でじゅうぶん実現可能です。

「さくらバスの運行確保と増便を要望する署名」を提出

22日(火)、コロナ禍で利用者が減少し、運行本数減少で悪循環になっているさくらバスの便数確保などの要望書を、みなさんから頂いた305名の署名と一緒に提出しました。町屋さくらの廃止計画を止め、さくら・汐入さくらの運行本数を増やすことを改めて要望しました。



北庁舎で担当部長に要望書

当日は、汐入や南千住3丁目、1丁目、6丁目などに住むみなさんが参加、切実な要望を防災都市づくり部長、都市計画担当部長に訴えました。

担当部長から「さくらバスは当初から自主運行が条件で実施した」など説明がありましたが、参加者のみなさんからは「1時間4本が2本になり、待ち時間が増加している」「バスの遅れも起きている」「北千住駅行のバスも増便して欲しい」「通院・買い物、区役所に行く際、高齢者にはなくてはならないバス」など切実な声が出され、区の担当部署としても「コロナ禍で厳しいが、要望は受け止めたい」としました。住民の声をよく聞いて、知恵を出して欲しい。

まだ続くマンション建設

大和ハウスの賃貸マンション2棟が、解体・建築工事へ。賃貸マンション15階建て(高さ45.5m)で今年6月着工、来年12月中旬竣工予定。

総戸数48戸、ワンルーム15戸とファミリー向け33戸の予定です。

大和ハウスの「ロイジェント三ノ輪」シリーズは、同時進行で日光街道沿いの南千住1丁目でも13階建て39戸を建築中。この「ロイジェント」は、都内10区などで展開しており、荒川区では、初めて2棟の開発。あちこちでミニ開発が続いていますが、マンション需要がいつまで続くのでしょうか？



ご意見・ご質問頂きました



○「2月18日夜空を見ると月が明るく浮かんでいます。スーパームーンでしょうか」と写真頂きました。調べてみると、今月の満月は17日だったようです。2月の満月はスノームーンというのだそう。確かに低いけどきれいに見えます。今年のスーパームーンは7月14日の午前3時のようです。○「憲法を変えたいという人たちが増えている?戦争だけはダメ」とぽつりとお話をされました。与党ばかりでは危険。子どもたちのために戦争しない国を続けたい。

